

令和7年度 教育課程部会 第6回芸術ワーキング
2026年2月17日（火）9:30～12:00

令和8年2月17日
教 育 課 程 部 会
芸 術 ワー キング グループ
資 料 2 - 3

地域との連携を図った図画工作科・美術科の授業の充実

大分大学教育学部 藤井 康子

学校と文化施設等、地域連携によるウェルビーイングの好循環

文化を守りつくる子どもたちを地域で協力して育てる



授業を通した子どもと教員のウェルビーイングの向上

ウェルビーイングの高まりと持続可能性



学校や地域、自分が暮らす世界をよりよくしていくための考え方を持っている段階。（利他的／公共的／持続可能）

身の回り人のウェルビーイングを願っている段階。
(他者との共存／協働)

自分の将来の見通しを持ち、将来何かを成し遂げることを願っている段階。（個人）

ウェルビーイングの深化

内閣府教育振興基本計画部会
内閣委員会資料より

ウェルビーイングの深化

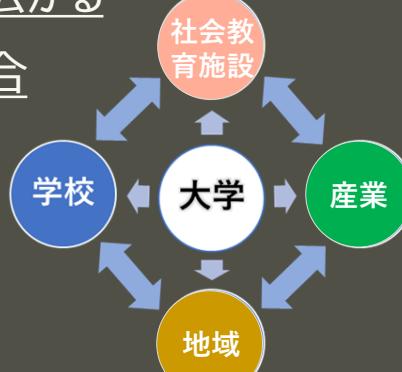
- 今が楽しい
(個人・現在)
- これから将来に希望を持てる
(個人・将来展望)
- クラスや地域の人の幸せを願う
(社会・共生)
- この町・学校・世界を良くしていきたい
(利他性・公共・持続)

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議（第2回）2023年1月16日（月）15:00-17:00 次期教育振興基本計画の策定に向けた検討状況について（ウェルビーイング関係）
https://www.mext.go.jp/content/20230120-mxt_sisetuki-000027108_40.pdf

実践事例1：小学校

芸術教育を核としたSTEAM型学習モデルカリキュラムと教材開発

小学校、大学、（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団、地域振興局等と連携し、「生活の中にある素材」をテーマとして学校が積極的に推進する「体験活動」と図画工作科を核として国語科や社会科、理科、算数科等に広がる体験的な学びを融合させ、探究学習として開発・展開した。



教科等横断的なカリキュラム マネジメント

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	ことばに親しもう(2) ばめんのつながりに気を付けて読もう(9) 「発見ノート」を作ろう(3)	国語辞典の引き方(2) すじみちを立てて発表しよう(8) 漢字の広場①(4)	だんらくの要点をつかもう(12) 俳句に親しむ(4)	しりょうを集めて活用しよう(13) 登場人物のせいかくを考えながら読もう(10)	よく見て、話し合おう(1) つたえたいことははつきりさせて書こう(16) 漢字の広場③(4)	場面のうつりかわりに気をつけて読もう(9) ローマ字(5) 気持ちを伝える話し方聞き方(4)	絵文字の特長をとらえよう(6) 漢字の広場④(4) 登場人物の気持ちをうそうしながら読もう(8)	「おすすめ図書カード」を作ろう(6) 文の組立て(4) 漢字の広場⑤(4)	詩を楽しもう(2) 調べて発表しよう(7) 文の組立て(4) 漢字の広場⑥(4)	図や写真と文 章を、むすびつけて読もう(7) たえたいことの中 心を明らかにしてかこう(8)	登場人物の気持 ちのうつりかわ りを読もう(10) 国語の学習これ までこれから(2)
社会	わたしたちの町と市 オリエンテーション(1) 1.まちの様子(6) 2.市の様子(10)		はたらく人とわたらしくらし オリエンテーション(1) 1.店ではたらく人と仕事(11) 2.工場ではたらく人と仕事(8)			地いきの安全を守る オリエンテーション(1) 1.火事からまちを守る(9) 2.事故や事件からまちを守る(7)			わたしたちの市の好み オリエンテーション(1) 1.かわる道具とくらし(6) 2.市のうつりかわり(9)		
算数	かけ算(11)	わり算(11) 時計の計算と短い時間(5)	たし算とひき算(11)	棒グラフ(14) 長さ(6)	大きい数(9) あまりのあるわり算(8)	円と球(9)	かけ算の筆算 1(11) 小数(12)	重さ(7) 分数(12)	△と角(10)	かけ算の筆算 2(8)	□を使った式(5) そろばん(3) 3年のまとめ(3)
総合					カイコを育て、成長の様子を観察して 絵日記をつけて記録しよう		カイコを育てた体験をもとにシナリオを作り、影絵を表現しよう	カイコの不思議を考えよう	カイコの不思 議やその素晴らしさを作文で表現しよう	カイコの不思 議やその素晴らしさを作文で表現しよう	作文
図工	絵の具と水(2) ふわふわ空気(2)	ねん土ランド(1) ふくろの中に は何が(4)	ふしぎな乗り もの(4) にじんで広がる 色の世界(4)	カイコを育てる様子を絵で表そう	光サンドイッチ(4) あみあみ大作戦(2)	でこぼこさん 大集合(4)	集めてならべて て(2) トントンくぎ 打ち(4)	未だにタイム スリップ(4) さわってわくわく(2)	生まれた いわつたな まち(4)	のこぎりひい の(4)	線と線が集ま つた(2) ん身ダンボー (2)
理科	しじんのかん さつ(4) 植物の育ち方 1.たねまき(5)	こん虫の育ち 方(10)	ゴムや風の力 (7) 植物の育ち方 2.葉・く き・根(2)	音のふしぎ(6) 植物の育ち方 3.花(2) じゅうけん きゅう(1)	じゅうけん きゅう(1) 動物のすみか (5) 植物の育ち方 (4)	花がさいた後 (4) 地面のようす と太陽(10)	太陽の光(7)	電気の通り道 (9)	じしゃくのふ しき(6)	ものの重さ(6)	おもちゃショ ーを開こう(6)

蚕の飼育 【総合】



観察絵日記 【理科】



絵 (水彩) 【図工】



影絵 【総合・図工】



繭の実験 【算数・理科】



繭の糸採り 【総合】



絵本 【総合・図工】



<地域連携先> 地域協育コーディネーター、地域の人々、地域産業（小売業）、大学等

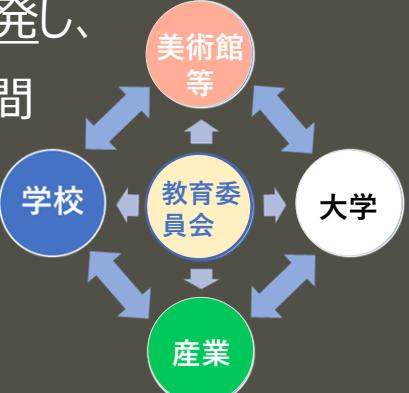
図画工作科の一つであった養蚕を中心に教育課程を組み立てた。蚕を育てる中での喜びや感動、悲しみ等の情動や経験が表現意欲につながり、図画工作科において蚕への思いを表すための表現方法の探究につながった。蚕と自分との関係性をテーマに子どもが自ら絵の構成や表し方を工夫して多様な表現が生まれた。

地域の資源を活用したことで、子どもにとってリアリティのある学びになった。図画工作科の学びが他教科等において生かされ、相乗効果が生まれた。

実践事例 2 中学校

中学生期における「アートと言葉」をテーマとした教科融合型学習

津久見市教育委員会、(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団(大分県立美術館)と連携し、地域の自然、伝統文化、産業・暮らしの中にある色(=各教科を繋ぐ接点、共通項)をテーマとする教科融合型学習を開発し、総合的な学習の時間も含めた学習プログラムを提案した。



この教科融合型学習では、美術科を軸に各教科等の学びと関連づけたり統合したりして物事を俯瞰的且つ多面的にみる見方・考え方を養う学習。

※教科等で目指す目標や指導内容を踏まえ、他教科等で学んだ内容を生かして学習する。

この事例では、美術科を軸に複数の教科が統合され、地域の自然(鉱物)の色をテーマとして、複数教科の学びが融合されています。各教科の目標や指導内容を踏まえ、他教科等で学んだ内容を生かして学習する方針です。

主な学習目標や活動内容は以下の通りです。

- 地域の美術作品(実物)の鑑賞【美術】
- 美術作品の鑑賞文の作成【国語・美術】
- ピグメントⅠ(身の周りの石)【美術・理科・総合】
- 津久見の美を魅力的に伝える【国語】
- 網代島巡見(バス巡見)【総合・理科・美術】
- ピグメントⅡ(チャート)【美術・理科】
- キャッチコピー作り【国語】
- ピグメントⅡの絵の具に色名を付ける【美術・国語】
- 学校美術館(OPA M等)【美術・国語・理科・英語・総合】
- 津久見美事典制作【美術・国語・理科・英語・総合】

地域の自然(鉱物)の色をテーマとして、複数教科の学びが融合され、美術科のより専門的な学びを展開し、材料学や日本の伝統色、美意識等とつなげながら言語活動も重視し、総合的な見方・考え方を育んだ。生徒が新たな視点を持ち、生まれ育った地域(故郷)の魅力を発見したことでの想いや愛着が深まり、各学習における自己評価が非常に高い傾向がみられた。

地域と連携したことでの美術科の学びが深まった。加えて、美術の感動体験が生み出す実感を伴った新たな学びの場を他教科にも提供することができた。美術科をハブとして教科融合型学習を実現・発展させたことで「授業改善」が学校全体に広がり、学校教育の中で美術科がリーダーシップを発揮することができた。

図画工作科・美術科からのつながり、新たな学びをつくる

地域の資源（文化・人・自然・素材・施設・産業等）を活用し、美術教育において様々な学問分野や各機関をつなぎ、学びを深めることができる。

- ・造形要素（形、色、素材等） →科学、色彩、光 他
- ・表現や鑑賞 →技法、材料、道具、芸術学、美学、美術史 他
- ・映像メディア →ICT活用、テクノロジー、AI 他

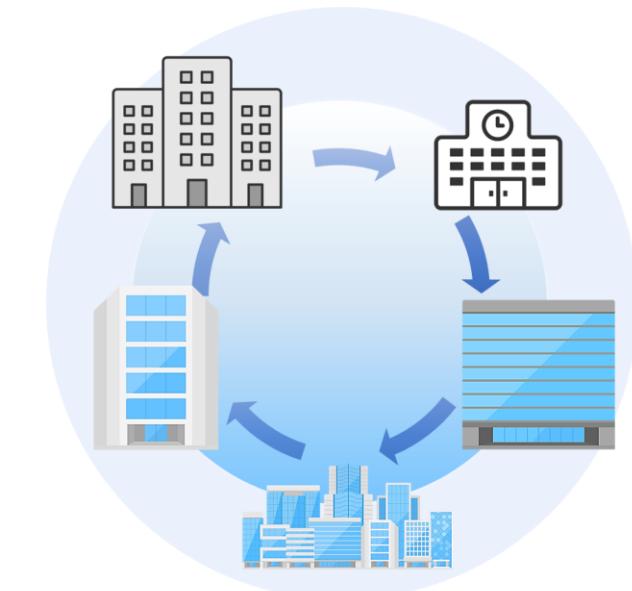
様々な教科の学びの要素を含む美術の体験・経験
の中で各教科等の知識・技能を活用

↓
様々な教科等の学びがつながる

↓
成功体験の積み重ね

↓
自己肯定感・自信等（非認知能力）の高まり

↓
教科の資質・能力を育む可能性



地域を図画工作科・美術科の学びに生かすことのよさ

- **生活や社会の中の形や色、美術や美術文化と豊かにかかわる資質・能力の育成**
地域社会にある形や色、美術や美術文化を学習活動に活かすことで、教科間をつなぐ学びの展開が可能になる。
- **主体的な学習の実現**
地域の自然や作品、アーティスト等の本物にふれる感動体験が子どもたちの主体的な学習の実現につながる。
- **地域の伝統文化の継承・創造**
学習活動を通して地域の伝統文化に触れ、理解を深め、子どもたちが文化をつくりだすことにつながる。
- **ウェルビーイングの向上**
多様な世代や社会との交流が造形や美術の働きの実感的な理解を促進し、自己有用感や自己肯定感を高める。